

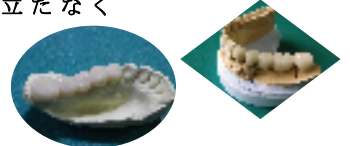
☆ 歯冠修復インレー・クラウン・ブリッジ (2)

メタル万能時代の歯冠修復からメタルレスへの傾向が強まり、レジン前装冠、メタルボンド (M B) など唇側に金属を見せない、審美性を求める傾向へと進展し更にはメタルアレルギーへの対応として、今オールセラミックと進行中、取り分け審美性の追求ではE-Max (イボクラ社)などは筆頭だろうと思われます。これも満点とは言いがたく強度的には少々不満を残しておりましたが、現在では殆ど破切の例は見受けられないまでに改善されております。ただブリッジについては症例により禁忌の例もあります。この様な審美性と機能性に更なる発展を目指して、近時導入されてきておりますCAD/CAMによるオールセラミックの改革があります。それらは、インセラムからアルミナそして、ジルコニアへと進化して参りました。そではまた次号にておめもじ致します

営業部 長谷川高広  
いつも、ありがとうございます 営業の長谷川高広です。日のたつのも早く入社して三ヶ月が過ぎました仕事には慣れましたが、まだまだ発展途上です。院長先生方にはご迷惑をかけており申し訳なく思っております。ただ私の担当させて頂いている先生方は本当に丁寧に技工について指示して下さいありがとうございます。このご恩はより良い間違いの無い製作物をお届けし、先生方により良いご提案をしてご繁栄を願っております。一日も早くご恩返しができるように頑張りますのでご期待下さい。



技工士 原謙一郎  
いつもお世話になっております。先日はCAD/CAMによるジルコニアらしいケースを製作しました。③④⑤⑥⑦で⑤⑥欠損の5本ブリッジで、③フルベイク④⑤頬側のみ陶材のベニアタイプ⑥⑦**ジルコニア、フルクラウン**のワンピースです。小白歯までは審美的を考慮して頬側部は陶材にしました。思っていた以上に境目も目立たなく良い結果が得られました。



先生方もいかがでしょうか

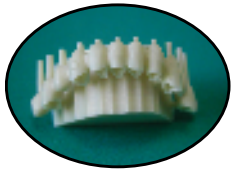
このケースは下顎ですがジルコニアのレアリングタイプです

技工士 松浦志樹 マウスガード (スポーツマウスガード)  
スポーツによる口腔内の外傷は軟組織の損傷から歯への浸透、破折、脱臼、脱落そして顎骨骨折や顎関節への障害さらに脳震盪にまで及ぶこともある。マウスガードはこれらのスポーツ外傷から口腔内を保護する装置として急速に普及しています。マウスガードの効果は口腔内のほかに脳震盪や頸部外傷の頻度と重症度を減少させさらにスポーツパフォーマンスにも好影響を及ぼすとも言われるようになりました。適合性もよく呼吸や発声などへの影響が少ない一人ひとりに合ったカスタムメイドのマウスガードがございますのでマウスガードを望まれる患者様がおられましたら提供されては如何でしょうか。

営業部 井上雅博 ゴールドのお話  
オリンピックでは、金を目指して競い合います。もちろん1位を目指して賞品が金メダルということで、金は1番です。また金の延べ板など財産として重んじられています。そのような金は、古くから歯科で歯冠修復に用いられています。ゴールドは化学変化がおこりにくく、口中でも安全で程よい硬さも、天然歯に負担をかけないようです。加工もしやすく変色も無く、ブラックマージンありません。白歯部では、まだまだ有効なゴールドなのであります。



オールセラミック  
シングルクラウンから  
インプラント上部構造まで



ジルコニアのコーピング  
ロングスパンも  
可能になりました



金属床のバージョンUP  
唇側にクラスプを無くした  
スイングウエッジ金属床

株式会社 オー・プラン・ラボラトリー

〒661-0022 兵庫県尼崎市尾浜町1丁目29-1

TEL;06-6426-5291 FAX; 06-6426-5292

E-Mail:webmaster@opl.co.jp URL: http://www.opl.co.jp

ご意見やご質問は、webmaster@opl.co.jp (電子メール)までお願い致します。  
□今後FAX不要の場合はお手数ですがFAX番号 \_\_\_\_\_ 記載の上、返信願います。。